

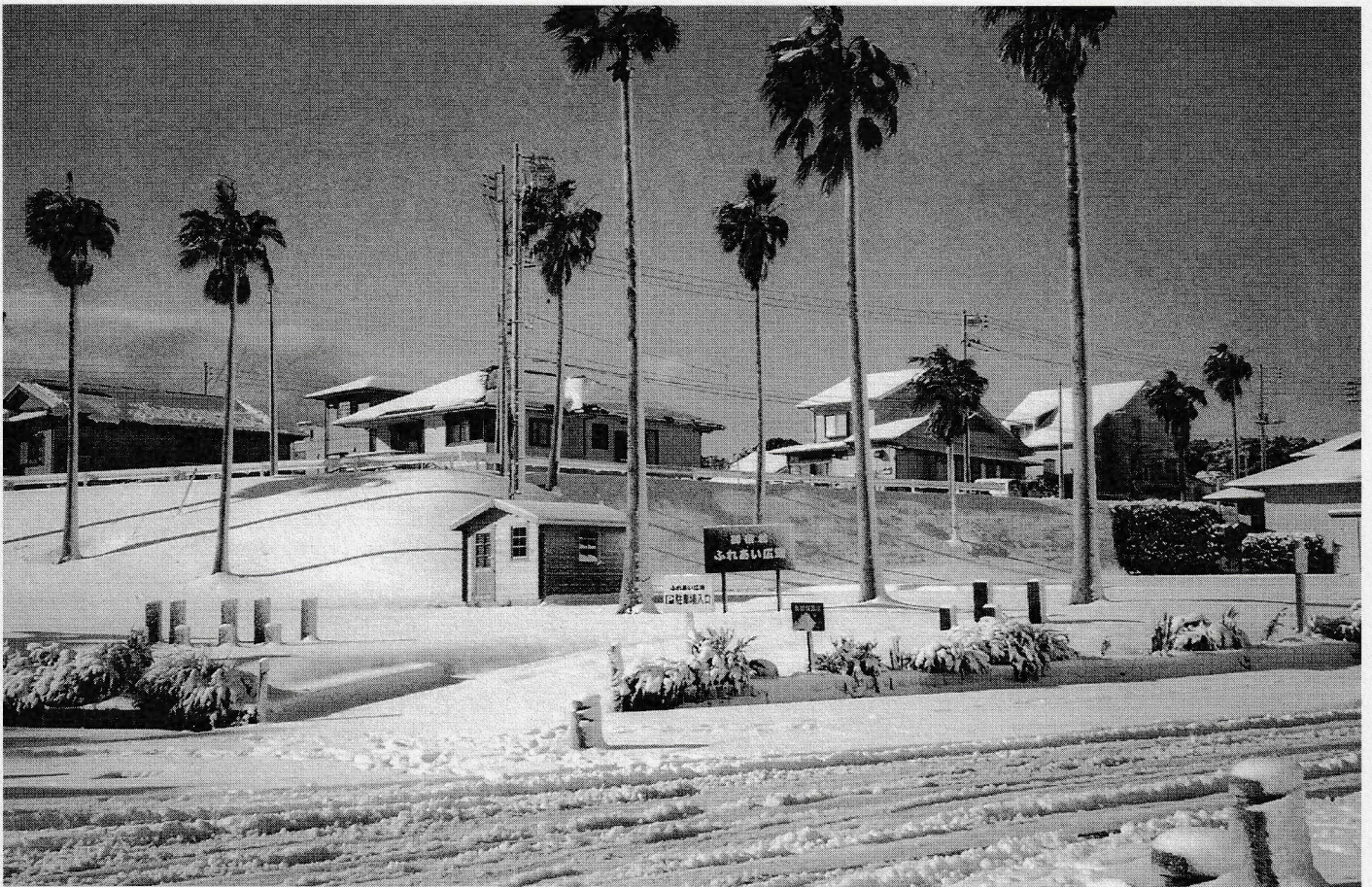
# 御宿台

Onjukudai-ku News

2007 冬号

# No. 27

区運営委員会編集・平成19年1月1日発行



御宿台雪景色 昨年一月、御宿台にかつてない大雪が降りました

松田 辰秀(112-08)

「文化勲章受賞をいい機会にこれからは講演などは断り、最後の晩年は小説だけ書いて死んでいきたい」。昨年秋の文化の日、作家の瀬戸内寂聴さんは84歳の抱負を晴れ晴れとした笑顔で語っていた。

元気印の寂聴さんから、記憶はほぼ半世紀前にさかのぼる。当時の文壇ゴシップによると「暗夜行路」などで知られる志賀直哉が古希を迎えて突然の「断筆宣言」。赤エンピツ片手に新聞のテレビ欄で好きな番組をチェックすることが楽しみと伝えている。80歳の丹羽文雄は原稿用紙に向かうが名前を書くだけで、一字も進まない。ある日、奥さんを指さして「知らない人がいる」と。びっくりした同居の娘さんが強制入院させたという。

男女差や時代によって違いはあるが、人にとって「老い」は避けられない宿命である。それにしても、現在よく使われてい

る「中年」とか「高齢化」という言葉は気に入らない。シルバーとかシニアなどカタカナはどうもなじまない。古くからの「お年寄り」は穏やかな語感だが、使い方が限られてくる。

ここで「高齢」から「長寿」という呼び方に変えたいかがでしよう。「長寿」といえば古来からだれしもが願い、祝ってくれる慶事だ。「キンさん・ギンさん」の双姉妹の100歳デビューにはどれだけ癒され、励まされたか思い出して下さい。確かに「長寿社会」という言葉には心温まる響きを感じられる。地方自治体の高齢者向け窓口には「長寿課」と名乗るところが多いときく。わが町役場も改名したらいいかな。

「柿は渋きより甘きに入り、人は甘きより渋きに入る」  
— 渋柿は熟すと甘くなり、逆に人間は年月をへると渋味が出てくることを意味する。新年を迎え、まだまだ甘さが目立つわが身を振り返りたい。

星野 午朗(102-04)



# 御宿台区の動き

## 町体育祭に参加しました

10月8日におこなわれた町体育祭に御宿台区として初めて出場しました。過去3年連続で雨天中止となっていた体育祭でしたが、今年は晴天に恵まれ、御宿台区からも17名の住民が各競技に汗を流しました。

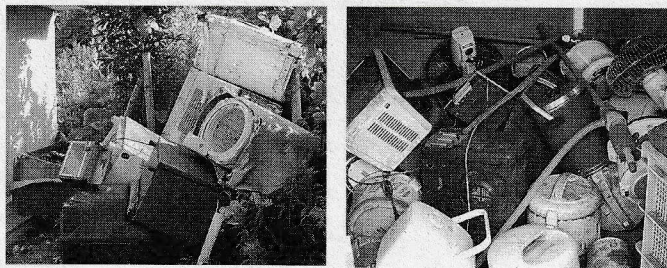
残念ながら全10区中の最下位という結果になりましたが、参加者の方々は競技に、応援にと楽しんでおられる様子でした。

区としては来年以降も積極的に町の行事への参加を推進します。

## 不法投棄とごみステーション改善について

9月23日に区内のごみステーションにおいて、大量の不法投棄が発見され、西武、町役場と共同でこれを処理しました。

今後は不審車両の監視強化など、住民が協力しての不法投棄対策が必要になるでしょう。



また、ごみの分別方法がわかりやすいよう、ごみステーションドアのプレートを一斉に、細かな分類を表示しました。庫内の分別容器整備も順次進めていく予定になっています。

## 粗大ごみ不法投棄の処理奮戦記

H18年9月下旬、御宿台ごみステーション2箇所に大量の家電製品を含む粗大ごみが不法投棄されていた。場所は300街区のNo.13、100街区のNo.2で、投棄物は大型冷蔵庫、洗濯機、TV、石油ストーブ、炊飯器、ポット、家具、マットレスなど2トントラックに満載できるほどの量であった。今回の投棄は明らかに外部業者の仕業であり早速、警察にも連絡し、現場捜査をお願いしたが、目撃者もいなかったこと、犯人を特定する証拠などが無く、捜査は行き止まり状態である。

不法投棄した者は「廃棄物処理および清掃に関する法律」により5年以下の懲役もしくは1千万円以下の罰金またはこの併科という罰則があり、れっきとした犯罪行為であることを十分確認しておく必要がある。不法投棄物の撤去処理は自治会、西武と共同で町役場と掛け合い、役場の協力も頂き約1ヶ月の期間と最小の費用で撤去することができた。外部業者による不法投棄は論外であるにしても、依然として御宿台内部の住民が不法投棄している現実も看過してはならないと思う。年に幾度かは炊飯器はじめ家電製品(粗大ごみ)がごみステーションの横にまたは内部に投棄されているのを目撃された方も多いと思う。問題は家電製品を一般ごみと同様に捨ててよいと考えている者がまだ多くいるということである。住民一人ひとりの意識向上と不法投棄を許さない断固とした決意が不法投棄をなくす手段であろう。住民各位のご協力を切にお願いしたい。

環境衛生分科会 岡山 勝敏

自治会では、  
“地上デジタル放送”対策分科会に  
参加して下さる方を求めています。

御宿台区自治会



## 新たな年を迎えて ～「食事会さざんか」

昨年も夏と暮れのパーティーを含め毎月1回の定例のお食事会を楽しむことができました。これも会員の皆様、支援者の協力による成果と心より感謝申し上げます。ここに現会員でいらっしゃるお二方の声を載せさせていただきます、新たな出会いへの誘いとさせていただきます。

2年半程まえから娘夫婦との同居で、こちらに住み始めましたが、友達ができず淋しく感じておりました。間もなくお食事会や買い物ツアーにお誘い戴き、沢山の皆様とお友達になって色々とお話を伺い、季節ごとの趣向をこらしたお食事や楽しいドライブと、今は毎月の行事を心待ちにしております。優しい支援者の皆様、会員の方々今年もよろしくお願いいたします。

伊藤 美智

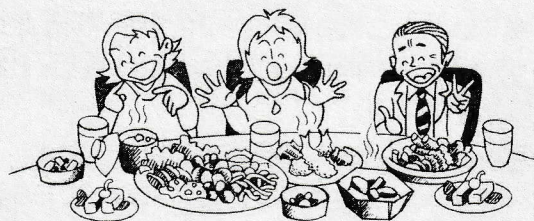
私は毎月第3火曜日に来るのを鶴のように首を長くして待っております。それは支援者の方々の創意工夫をこらした季節感あふれる料理が本当に素晴らしいからです。まず目で頂き、それから箸をとります。新鮮な食材、盛り付け、見事です。それに加えて会員相互の交流親睦が楽しく話題はつきません。

私は御宿台で一人暮らし、家内は孫二人の世話をしているため、御宿と幕張を行ったり来たりです。御宿では私が「男の料理教室」で習った経験を生かして3食作っています。明日を思い煩うこと無く楽しい日々を送れたらいいなと思う今日この頃です。

小泉 明

今年もお客様、支援者、みんなで楽しい「食事会」を目指します。奮ってご参加下さい。

お問い合わせ先： 立石 明子 (68-7248)  
矢作 明子 (68-8677)



## 三二情報

11月30日現在

### 御宿台開発状況

売却済分譲地：1,239区画 建築中：16戸  
建築戸数：806戸 定住届出：389戸

### 乗合バスの利用

9月/531人 10月/541人 11月/511人

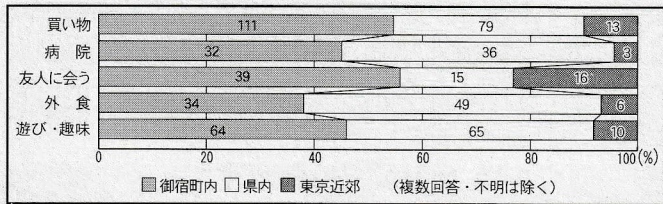


# ～昭和女子大アンケートから～

## ■第三回：外出編

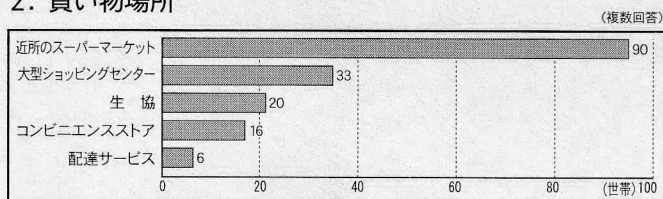
昭和女子大学による「御宿台西武グリーンタウンにおける居住環境に関する調査」から、外出・買い物などの調査結果を掲載します。

### 1. 外出の範囲



外出することについては、男女とも約7割が「とても好き」「やや好き」と回答しています。外出の範囲は、外食時には町外へ、友人に会う時には東京近郊へ行く割合が比較的高くなっています。

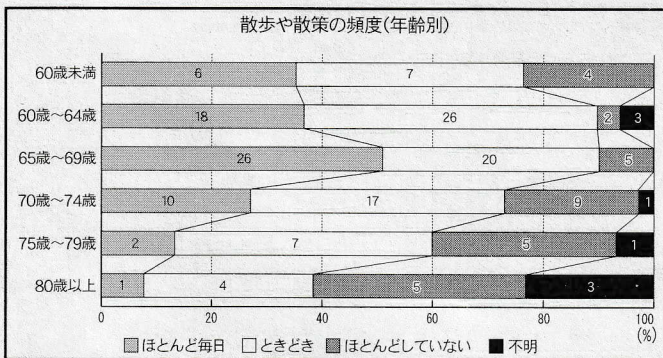
### 2. 買い物場所



日常の食料品などの買い物は、近所のスーパーマーケットが大半を占めますが、生協や配達サービスなどを利用する世帯も多くなっています。今後、高齢化にともない外出が困難になった場合には、さらに需要が高まると予想されます。

買い物際の交通手段としては、車が圧倒的です。

### 3. 散歩・散策について



全体の8割が散歩や散策をしており、男性の4割弱、女性の3割がほとんど毎日していると回答しています。ただし、年齢別で見ると、65～69歳をピークに極端に割合が下がる傾向にあり、高齢者が家にこもりがちになってしまう印象を受けます。

(昭和女子大学 生活環境学科 竹田研究室 作成資料より)

# ～カントリーソング 一緒に歌いませんか～

カントリーを歌って55年。東京、千葉でライブなどをやっています。

テネシーワルツ、アメイジンググレイス、ユーアーマイサンシャインなど古いカントリーソングを一緒に歌いませんか。経験など不問、歌の好きな方ならどなたでも。また、楽器をお持ちの方もぜひご参加ください。

047-447-2570 または 090-2906-1588 までご連絡ください。  
(223-02 後藤 功)

## 写真と絵画で集会所の壁面を明るく!

集会所の会議室やギャラリーの壁面が余りにも殺風景なので、「何か工夫をされたら如何ですか?」との声があり、運営委員会では写真クラブにお声を掛けて、作品を展示していただくことにしました。また、絵画愛好家の方も大勢おられるのでお声をかけ、自慢の作品を展示して頂くことにしました。

2、3ヶ月で架け替えるようにしたいと思いますが、展示ご希望のサークルや愛好会がありましたら是非ご連絡ください。

連絡先：419-10 倉片 好武 (68-7522)

## 老人クラブを作りませんか?

私達が暮らす御宿台に老人クラブを作りませんか?

健康で快適な毎日を過ごせる様なコミュニケーションの場になりたいと思います。

町の社会福祉協議会に登録して、活動のための補助金も受けられます。参加ご希望の方は、

319-10 小林英輔さん (68-5482) までご連絡下さい。

光を放たない勝浦の灯台とオー  
バラップした心境を詠んだ。  
の淋しさが心をよぎった。  
社員に無償で任せて引退した。一抹  
十七年四月、経営していた会社を

君塚 一雄

われといつか重なる  
唯ただ白く佇つ灯台は

レィダーに替わられ

短歌

詠むこころ

最高級そばと地酒の店

そば処

竹むら

☎68-8888

くつろぎの館

創作料理

宗苑

☎68-8887

海

御菓子司

海月堂

製造発売元

御宿町須賀572

☎68-2345

一人前より 出前迅速

うぶき  
鶏丸

高山田 高校前通

☎68-4867

ペンション・  
中華レストラン

チャイナ

出前 承ります!!

☎68-2920  
ニクニレ

本  
格  
手  
打  
の  
店  
本  
粉  
は  
国  
産  
石  
臼  
碾

上布施

☎68-5220



## ◆ 御宿へ移って2年

以前から終の棲家は“南房総”にログハウスを建て、田舎暮らしをしたいと決めていた私は反対する妻や子供達を説得し、更に定年を一年前倒しをして御宿台を選びました。子供達はそれぞれの道に進み、今は私の両親を迎え妻と四人でこの地の住人となり二年が経ちました。

我が家は高台にあり、冬は北風が吹きつけここが南房総かと思うくらい寒い日もありますが、春になると後ろの山が緑になり、空にはトンビが舞い、ウグイスやホトトギスが競って鳴きBGMとなって庭でのコーヒータイムが楽しくなります。又空の青と深い緑と遠くに見える光る海は、暫し時の過ぎるのを忘れさせてくれます。

長年都会暮らしをしてきた親父と御袋は、のんびりとした穏やかな生活の毎日が山荘に居る様で幸せだと喜んでます。

庭には少し畑を作り、無農薬野菜を作っております。素人でなかなか思うように出来ませんが、自分で作ると愛情がわき少々出来が悪くても、結構楽しいものです。

ご近所の方にも恵まれ、又趣味を通じて知り合いの方も増えました。

この地を選んで本当に良かったと思っております。皆さま今後共お付き合い頂きますよう宜しくお願い致します。

(306-08 澤崎 久)

## ◆ 潮騒

眼下に連なる山並みの裾野を朝もやが深々と漂う。朝陽は穏やかな海を黄金色に染め空と海の境を示している。列車の音がゆっくりと通り過ぎる。高台から見たある朝の風景である。

この辺りは日本でも数少ない自給自足のできる地域と聞いて納得する。米、魚を主に四季折々の自然からの恵みは潤いあふれている。人々はゆったりと暮らし、健康管理やら趣味やらで時を過ごしているように見える。耳目を覆うような犯罪も未だこの地には及ばず、少子高齢化と言われる社会現象のなかでも町にいればまだ沢山の穢れない瞳を持つ子供達に数多く接する事が出来る。時折吹き荒れる強風を除けば豊かで平和な町だと思ふ。

このような地でどんな変革が必要であろうかとふと疑問がよぎる。人間もカメレオンのように色を変えて時代の変化に対応して行けるのではないのか。何もしなくても。そしてこの安寧のなかに時代に取り残されてゆく自分の姿が浮かぶ。

そろそろ自分に出来る事も限られてきたようだ。何か少しは地域の未来に役立つ事をしなくてはとせめて思う。

(121-02 鈴木 潤子)



## ◆ 御宿台に住んで

ちょうど1年になり、一番感じたことは、冬場の寒さの違いです。実際には2~3度のわずかな違いとは思いますが、私自身、勝浦に30年、御宿にて10年過ごし、浜辺とは違う冷たさを感じております。

浜辺にて40年余を過ごし、各地区・場所を見てきた中で、1区画当たり広さ、道路の広さ、自然あふれる環境、運営のあり方等々を考え見ると、勿論一長一短はありますが、住民のことをよく考えてくれていると思ひ、御宿台にと決めたい次第です。

逆三角形(少子高齢化)の世の中で非常に厳しい未来と思われていますが、どのような形であれ、次の日本の担い手になることに違いない子供達に、世の中の素晴らしさ・厳しさを教え、御宿台に住んで良かったと思える環境を少しでも作れれば幸いかと思います。

(124-08 狩野<sup>かのう</sup> 信輝)

## ◆ 亀の歩み……。

千葉の船橋から御宿台に移り住んで1年半。

ここは空気がきれいで、空も広く、星も降るほど見える。大満足だ。この環境、東京への2時間以上の通勤には代え難いものがある。定年後は、遠くに海が見え、近くに山のあるログハウスに住み、自分たちで造作する夢をもっていた。

定年には間があったものの、縁あってここに住むようになったきっかけは、2つあった。まず、長女、次女が大学に進み親の手が離れた事、そしてこの土地を見に訪れた日に自分が建てたいと考えていたログハウスが、実際にあった事だ。

今、同じ夢をもつ人達との交流は、私達夫婦の世界観を広げてくれる。まだ夢にかけられる時間は限られているが、こだわって自分の手で作りたい。亀の歩みである。お見苦しい点は、御勘弁いただきたい。いつも爽やかな挨拶をして下さる皆さんに感謝して筆を置く。

(341-14 林 克彦・晶子)

## 編集 後記

あけましておめでとうございます。3ヶ月サイクルの広報誌編集作業にだいぶ慣れてきたところです。

非定住者向けに広報誌を発送する際、従来は郵便を利用していましたが、今年度からは安価なメール便による発送に切り替えました。これも時代の流れでしょうか。

一方、定住者向けには主に運営委員が中

心となって手作業で配布をおこなっています。発行日から数日後に「まだ広報誌が届かない」というお叱りの声(期待の裏返し?)をいただくことも度々ですが、同じ御宿台住民によるボランティアの手で配布されていることをご理解のうえ、気長にお待ちになっていただければと思います。

本年も自治会、運営委員会の活動に一層のご協力をお願いします。塩入 健次(109-02)

## 区運営委員会委員 (18年度委員)

唯山 利朗	会長	122-02	68-7168
塩入 健次	広報・記録	109-02	68-2789
岡山 勝敏	環境・衛生	216-11	60-3825
米内山信雄	会計	225-06	68-8305
倉持 和子	環境・衛生	230-04	68-3740
前田 修平	会計	316-09	60-3370
安達 宏之	環境・衛生	318-07	68-5402
月岡 一郎	総務	323-02	60-3844
倉片 好武	総務	419-10	68-7522